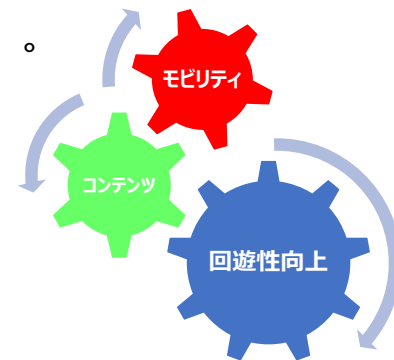


# これまでの振り返り

## 2021年度のまとめ【前年度WG】

### 1 モビリティ利活用WG（回遊性向上PT）

**課題設定** 拠点間の回遊性を向上させるには、モビリティの整備が必要（デマンドバス、マイクロモビリティなど）。  
 →しかし、モビリティを整備するだけでは回遊性を高めることはできない。  
 そこで、移動する目的を整備し、移動を「作る」「デザインする」必要がある。



2021年度の方針 **コンテンツとモビリティを両輪として回遊性向上に取り組む**

#### 検討結果

#### コンテンツ

・イベント、ユースケース、電子チケット、割引サービスなどが想定。  
 ※イベント、電子チケット、割引サービスもユースケースの一部と検討。  
 ※イベントは毎日開催できるものではない。開催日以外の回遊性向上についての検討も重要な課題。

・便利で持続可能な移動環境とするため、**日々のユースケースからふさわしいモビリティを考える。**

・**来訪者を呼び込むきっかけとしてイベント、電子チケット、割引サービスなどの実施検討が必要。** イベント実施にあたっては、**地域で協力し、幕張新都心エリア内の回遊性向上を促す仕掛けを取り込む。**

#### モビリティ

・**日々のユースケースからふさわしいモビリティを考える。**  
 ・幕張新都心エリア内には、広範囲に飲食、買い物、生活施設が点在しているため、既存のモビリティではカバーしきれない部分あり。

・**既存モビリティと補完し合うものとして、循環バス、直通バス（幕張駅～海浜幕張駅）、オンデマンド交通の導入を検討。**

※二次交通の乗降ポイントからの移動ではシェアサイクルを活用。  
 ※駐車場も相当数確保されているが、情報発信や予約システム等が整っていないため、**駐車場シェアリングサービスを検討。**

・電車やマイカーで幕張新都心エリアに来ていただき、その後は別のモビリティ等を活用することで、街の回遊性の向上、消費の拡大、渋滞解消につながる

## 2021年度のまとめ【前年度WG】

### 1 モビリティ利活用WG（回遊性向上PT）

#### 検討結果

回遊性向上を図るために、2022年度下半期に予定しているMaaS実証実験において、検証すべきモビリティのイメージ案を右図のとおりまとめました。



実証実験実施事業者の選定の際、**本イメージ案も含めたコンソーシアムにおける検討結果を踏まえた提案を求める。**



## 2021年度のまとめ【前年度WG】

### 2 モビリティ利活用WG（最適化・共有化PT）

#### 課題設定

- ・バスルートやバス停、シェアサイクルや電動キックボードのS T、駐車場や施設（飲食店・買い物・生活）などの**モビリティ資源等を可視化したマップ**があった方が良い。
- ・幕張新都心エリアで抱えるモビリティ資源の課題について以下のとおり検討。
  - ①バスの空席や駐車場の空きなど**使われていない既存資源の活用**を検討
  - ②バスルート被りやシェアサイクルポートの配置など**既存資源の効率化**を再考
  - ③**バスの共同運行を分析した結果、午前中は施設から駅行き、夕方は駅から施設行きが少ない**ことが判明



## 2021年度の方針 モビリティ資源等の可視化及び既存モビリティ資源で解消できそうな課題の整理

#### 検討結果

##### モビリティ資源等の可視化

・**モビリティ資源等を可視化したグーグルマイマップを作成**し、バスルートの被りやシェアサイクルポートの偏りなどを確認できるようになったとともに、必要に応じて随時更新も可能となった。

・**今後は可視化したマップをもとに、幕張新都心エリアに適するモビリティ資源の最適化・共有化や新たな議論を行う。**

##### ■参考 グーグルマイマップ

<https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1BnXF9MK77Rg9o3Mlnx13b6jn3EzseeED&usp=sharing>

##### 課題から整理した最適化・共有化の具体案（素案）

・交通アクセス等に適した環境が整備されているにもかかわらず閑散期に活用されていない**幕張新都心エリアの駐車場について、近隣施設への回遊を促進する拠点（モビリティステーション）として活用できる可能性がある**と検討し、2022年度に取り組むべき具体案（素案）としてまとめた。

・**上記内容をベースとして進めつつ、並行して既存送迎バスの改善に向けた取組みやモビリティステーション用地の確保などにも取り組んでいく。**



## 2021年度のまとめ【前年度WG】

### 3 MaaSプラットフォームWG

- 課題設定** ・2023年春の幕張豊砂駅開業に向けて、幕張新都心版MaaSのサービスインに向けて以下のとおり検討。
- ①幕張新都心版MaaS構築に向けて、必要な要素、各会員が果たせる役割、創造できる価値を考える必要がある。
  - ②上記の検討内容を踏まえ、幕張新都心版MaaSの実証実験の要件整理を行う必要がある。
  - ③幕張新都心版MaaSの導入を見据え、現状の移動実態を調査するとともに、交通事業者をはじめとする各主体がそれぞれ有する情報の整理を行うため、「幕張新都心版MaaS移動実態調査等業務委託」を実施するものとする。

#### 2021年度の方針

幕張新都心版MaaS構築に向けて、必要な要素や会員の役割、創造できる価値について整理を行った後、2022年度下半期に実施するMaaS実証実験に向けて具体的な要件整理等を行う

#### 検討結果

##### 幕張新都心版MaaSに必要な要素等の整理

- ・幕張新都心版MaaSに必要な要素として、以下のとおり整理。
- ・MaaS本体（プラットフォーム含む）に関すること
- ・モビリティサービス（公共交通、マイクロモビリティ）に関すること
- ・関連分野サービス（エネルギー、インフラ、不動産、保険、医療、飲食、宿泊、観光、小売、物流、教育、環境等）に関すること
- ・予約・決済に関すること
- ・移動実績に関すること

※上記の各要素について、**各会員が果たせる役割**（ソリューション提供、ソフトやハードの資源提供、メリットに応じた費用負担、顧客確保、意見集約等）を明らかにした上で、**それらの組合せにより幕張新都心版MaaSにて創造できる価値**についても検討。

##### 幕張新都心版MaaSの実証要件の整理

- ・幕張新都心版MaaSの実証実験の要件検討にあたって、以下の通りの項目で検討（**2022年度に継続**）。
- 1 実証の全体像
  - (1) 幕張豊砂駅開業時に目指す姿
  - (2) (1)を踏まえた検証すべき姿
  - (3) 各関係者（利用者、行政など）が実証から得られる（得たい）もの
  - (4) スケジュール
- 2 実証にあたっての各要件
  - (1)プラットフォーム
  - (2)実施エリア
  - (3)実施事業者
  - (4)事業者選定
  - (5)実証の推進体制



## 2022年度運営方針

2021年度の活動内容や課題を踏まえ、2022年度は下記の体制での実施を予定

### 2021年度 振り返り

- 2021年度は5つのWGを中心に各テーマごとに議論を行ってきた。一部WGでは課題や個別テーマ毎にPTを設置し、より建設的な検討を実施
- 一方でWG毎に想定実装時期の違い等により検討のスピード感が異なっていると同時に、より多角的な視点から知見を寄せ集める必要あり

### 2022年度 運営方針

- 2022年度はWGを2つに集約し、各WGの下にPTを設置
- PTをテーマごとの検討の場、WGをPTでの検討内容の取り纏めの場として位置づけ、コンソーシアムとしてより統一感のある検討を目指す

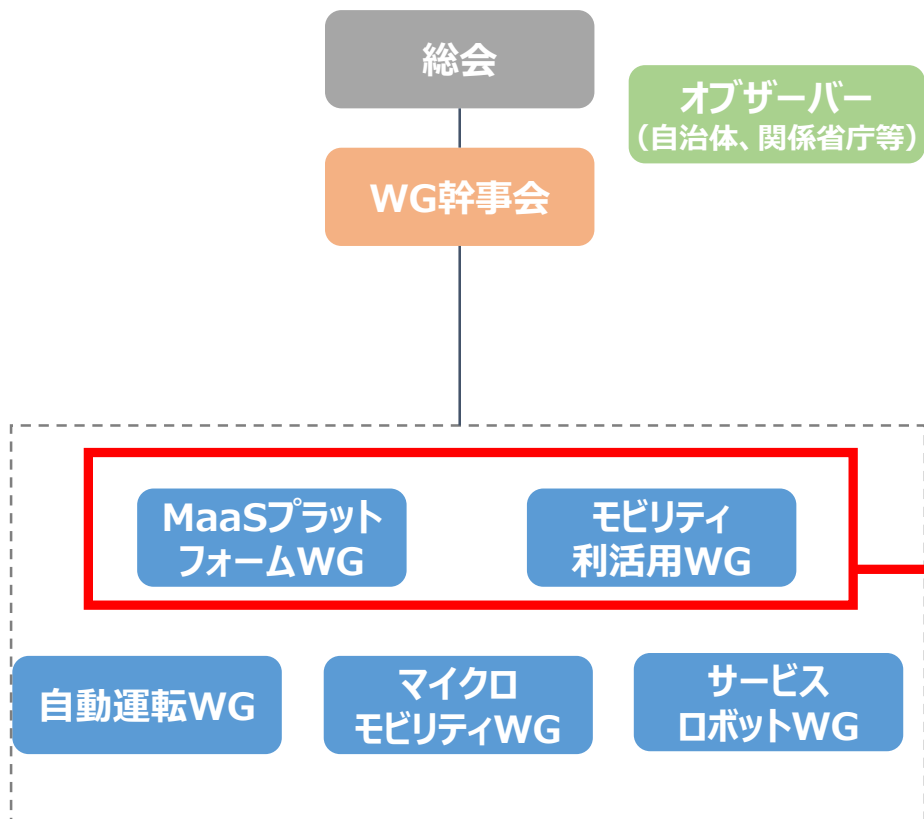
## 各会議体の位置づけ

総会・中間	各WG、PTの検討・実施事項の全体共有
WG	各PT検討の進捗管理・情報共有
PT	テーマ毎の各種検討や実証実験に向けた準備・各種連携を実施する場

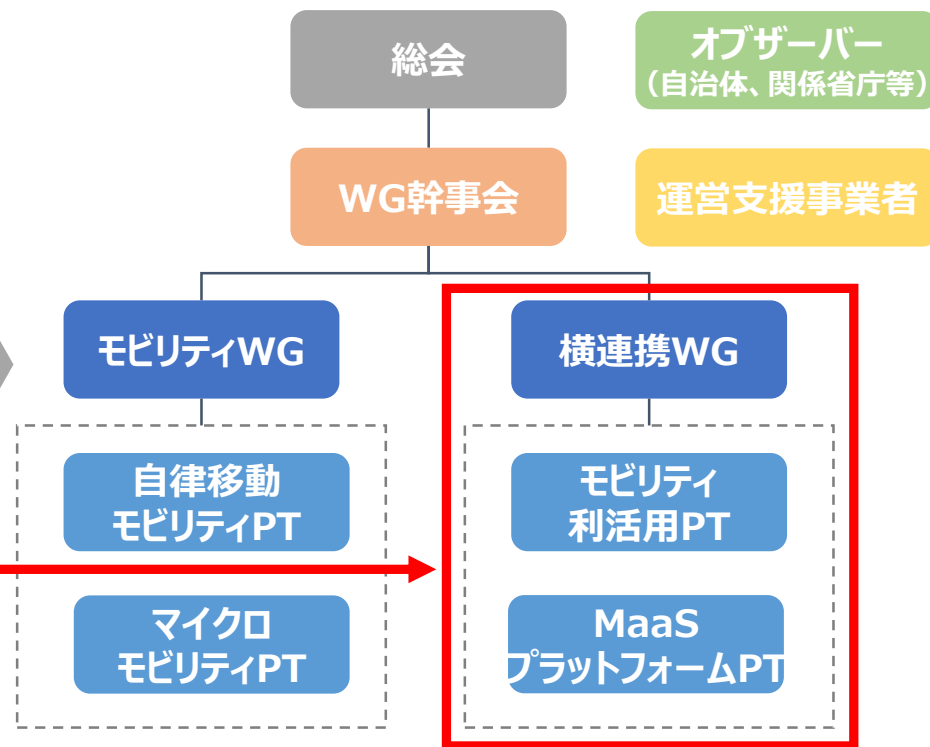
## 体制案

- ・WGをモビリティサービスの導入・高度化を検討するモビリティWGとサービスの最適化・一体化を検討する横連携WGに再編
- ・横連携WGの下に、**MaaSプラットフォームWGとモビリティ利活用WGをそれぞれPTとして設置**を想定

昨年度



今年度（予定）



※第4回総会資料と一部変更あり

## 方向性

### ●WGとしての方向性

来訪者や住民、就業者、就学者など様々な属性の方からの幕張新都心における「移動需要」に対し、幕張新都心版MaaSを基盤とした一体的なサービスの実現により、利用者に最適な「移動手段」を提供するとともに、幕張新都心エリア内の回遊性向上を目的としたイベントや電子クーポン、チケット等のコンテンツを検討することにより、幕張新都心の面的な活性化を目指す。

### ●2022年度取組みの方向性

2023年春の幕張豊砂駅開業に向けて、幕張新都心版MaaSを実装するための取組みを着実に進める。また、将来的な幕張新都心版MaaSのサービス拡張に向けた回遊性向上に資する手法の優先順位付けを行うとともに、駐車場など既存資源の最適化・共有化に向けた検討の具体化についてコンソーシアムとして推進するため、WGにおける進捗管理やP T間の情報共有を計画的に進める。

## 各PTの体制案

P T・・・テーマごとの各種検討や実証実験に向けた準備・各種連携を実施する場

前年度の取組みを踏まえ、各PTで行う主な取組みは以下のとおりを予定。

千葉市事業（補助）

横連携  
WG

モビリティ利活用  
PT

- 幕張新都心における回遊性の向上に向けて、コンテンツとモビリティの両面から検討するとともに、既存資源の最適化・共有化を図ることについて検討するPT

（主な取組内容）

- ・ 回遊性向上に資する手法の具体化や課題整理、優先順位付けなどについて取り組む。
- ・ 既存資源（駐車場など）の最適化・共有化に向けて、具体的な検討を行うためのニーズ把握、課題整理などについて取り組む。

MaaS  
プラットフォームPT

- 2023年春の幕張豊砂駅開業と同時期の実装を目標とする幕張新都心版MaaSについて検討するPT

（主な取組内容）

- ・ 2022年度下半期に予定している幕張新都心版MaaSの実証実験に向けて検討するとともに、実証内容の練上げなどについて取り組む。
- ・ 今後のサービス機能拡充に向けて取り組む。

MaaSの  
実証実験を予定  
（2022年度下半期）

※第4回総会で説明した「回遊性向上PT」と「最適化・共有化PT」については、検討した結果、「モビリティ利活用PT」として統合することに変更（前年度のモビリティ利活用WGを継承）

回遊性向上PT

最適化・共有化PT

モビリティ利活用PT



## 年間スケジュール案

2022年度検討内容を取りまとめるため、WG・各PTを年3～4回開催予定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総会・中間		準備 ● <b>総会</b>	全体会議の連携 分解討議				準備 ● <b>中間</b>				準備 ● <b>総会</b>	
横連携WG		準備 ● <b>WG</b>				準備 ● <b>WG</b>	各WG検討 の連携			準備 ● <b>WG</b>	各WG検討 の連携	
モビリティ利活用PT		各PTの目標・ テーマ検討	準備 ● <b>#1</b>		準備 ● <b>#2</b>	各PTの共有・ 報告・討議	準備 ● <b>#3</b>		準備 ● <b>#4</b>	各PTの共有・ 報告・討議	準備 ● <b>#4</b>	
MaaSプラットフォームPT	準備 ● <b>#1</b>		準備 ● <b>#2</b>	準備 ● <b>#3</b>	準備 ● <b>#4</b>							

## 年間アジェンダ案

横連携WG	第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>WGとして目指す方向性の決定や各PTの設置</li> <li>昨年度検討の振り返り</li> <li>実証実験や調査の報告</li> </ul>
	第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各PT検討や実証実験準備の進捗確認</li> </ul>
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各PT検討</li> <li>実証実験結果の取り纏め</li> </ul>
	第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各PT検討・実証実験結果の取り纏め</li> </ul>

モビリティ利活用PT	第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度検討の振り返り</li> <li>今年度のPT目標討議</li> <li>各社の取組み意向確認</li> </ul>
	第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度検討案の評価</li> <li>具体的施策実施に向けた準備、外部連携</li> <li>他のPTとの連携</li> </ul>
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験の進捗確認</li> <li>実証を踏まえた検討案の実現性検証</li> </ul>
	第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験結果報告</li> <li>検討内容取り纏めと来年度に向けた目標設定</li> </ul>

MaaSプラットフォームPT	第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社検討内容の共有</li> <li>実証内容練上げ</li> </ul>
	第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社検討内容の共有</li> <li>実証内容練上げ</li> </ul>
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験の進捗確認</li> <li>サービス機能拡充に向けた意見交換</li> </ul>
	第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験結果報告</li> <li>検討内容取り纏めと来年度に向けた目標設定</li> </ul>

第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>WGとして目指す方向性の決定や各PTの設置</li> <li>昨年度検討の振り返り</li> <li>実証実験や調査の報告</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各PT検討や実証実験準備の進捗確認</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各PT検討</li> <li>実証実験結果の取り纏め</li> </ul>
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各PT検討・実証実験結果の取り纏め</li> </ul>

第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度検討の振り返り</li> <li>今年度のPT目標討議</li> <li>各社の取組み意向確認</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度検討案の評価</li> <li>具体的施策実施に向けた準備、外部連携</li> <li>他のPTとの連携</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験の進捗確認</li> <li>実証を踏まえた検討案の実現性検証</li> </ul>
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験結果報告</li> <li>検討内容取り纏めと来年度に向けた目標設定</li> </ul>

## PTへの参加について

- 本WG終了後、横連携WGに参加される会員を対象に、各PTへの参加について、事務局よりメールにてお知らせいたします。

## PTの開催について

- 第1回PTの開催につきまして、今後事務局よりお知らせいたします。  
第1回PT開催日時について、日程調整を行う予定としておりますので、ご協力の程  
よろしくお願いいたします。
- その他、連絡事項等が発生した場合は、適宜メールにてお知らせいたします。